

2 歴代誌

1:3 ソロモンおよび彼とともにいた全会衆は、ギブオンにある高き所に行った。そこに、【主】のしもべモーセが荒野で造った神の会見の天幕があったからである。

@ギブオン

1 列王 3:4 王はいけにえを献げようとギブオンへ行った。そこが最も重要な高き所だったからである。ソロモンはその祭壇の上で千匹の全焼のささげ物を献げた。

2:12 またヒラムは言った。「天と地を造られたイスラエルの神、【主】が**ほめたたえられますように**。主はダビデ王に知恵のある子を与え、思慮と悟りを授けて、【主】のための宮と、自分の王国のための宮殿を建てさせられます。

ほめたたえられますように＝バラク◀ 1288. (𐤁𐤏𐤁)barak 330 回▶ 祝福する 316回(英)の内 74回ほめる(改 4)。

(NAS)(KJV)(INT)Bless (改 4)ほめる

3:1 ソロモンは、エルサレムの**モリヤの山**で【主】の宮の建築を始めた。そこは、主が父ダビデにご自分を現され、ダビデが準備していた場所で、エブス人オルナンの打ち場があったところである。

1 歴代誌 21:18 そこで、【主】の使いは、ダビデにこう伝えるようガドに言った。「ダビデは上って行って、エブス人オルナンの打ち場に、【主】の祭壇を築かなければならない。」

@モリヤ山

@エルサレムには7つの丘がある

@オルナンの打ち場 = 麦打ち場

3:17 彼は柱を本殿の前に、一つを右側に、一つを左側に立てた。右側の柱の名をヤキンと呼び、左側の柱の名をボアズと呼んだ。

ヤキン=(BLB) He will establish

ボアズ=(BLB) fleetness 素早さ、船団

黙示録 3:12 わたしは、勝利を得る者を、わたしの神の神殿の柱とする。彼はもはや決して外に出て行くことはない。わたしは彼の上に、わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、わたしの神のもとを出て天から下って来る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書き記す。

5:12 また、歌い手であるレビ人全員、すなわち、アサフ、ヘマン、エドトン、および彼らの子たちや兄弟たちも、亜麻布を身にまとい、シンバル、琴および堅琴を手にして祭壇の東側に立ち、百二十人の祭司たちも彼らとともにラッパを吹き鳴らしていた。

琴= ◀ 5035. nebel 38 回 ▶皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、琴、壺

(改2)は十弦の琴と訳していたが間違い

5:13 ラッパを吹き鳴らす者たち、歌い手たちが、まるで一人のように一致して歌声を響かせ、【主】を賛美し、ほめたたえた。そして、ラッパとシンバルと様々な楽器を奏でて声をあげ、「主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで」と【主】に向かって賛美した。そのとき、雲がその宮、すなわち【主】の宮に満ちた。

@まるでひとりであるかのように

@主の宮は雲で満ちた

その宮、主の宮=どちらも ◀ 1004. bayith ▶

賛美し=ハラル◀ 1984. halal (להל)165 回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

ほめたたえた=ホドット◀ 3034. yadah (נדד) 114 回▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回 ★

(NAS)glorify (KJV) thanking

5:14 祭司たちは、その雲のために、立って仕えることができなかった。【主】の栄光が神の宮に満ちたからである。

。

ダビデと書かれた箇所 (合計 10 箇所)

- ① 6 : 4
- ② 6 : 6
- ③ 6 : 7
- ④ 6 : 8
- ⑤ 6 : 10
- ⑥ 6 : 15 * 2 箇所
- ⑧ 6 : 16 * 2 箇所
- ⑩ 6 : 17
- ⑪ 6 : 42

6:3 それから王は振り向いて、イスラエルの全会衆を祝福した。イスラエルの全会衆は起立していた。

祝福する=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

6:4 彼は言った。「イスラエルの神、【主】がほめたたえられますように。主は御口をもって私の父ダビデに語り、御手をもってこれを成し遂げて、こう言

われた。

ほめたたえられますように＝バラク◀ 1288. (𐤁𐤏𐤅)barak 330 回▶ 祝福する 316回(英)の内 74回ほめる(改4)。

(NAS)(KJV)(INT)Blessed be

6:13 ソロモンは、長さ五キュビト、幅五キュビト、高さ三キュビトの青銅の足台を作って庭の中央に据えていたので、その上に立った。そしてイスラエルの全会衆の前でひざまずき、天に向かって両手を伸べ広げて、ひざまずき＝バラク◀ 1288. (𐤁𐤏𐤅)barak 330 回▶ 祝福する 316回(英)の内 74回ほめる(改4)。★★★

(NAS): knelt on his knees (KJV): neeled down upon his knees (INT): knelt on his knees (改4)ひざまづき

2歴代 6:19 あなたのしもべの祈りと願いに御顔を向けてください。私の神、【主】よ。あなたのしもべが御前にささげる叫びと祈りを聞いてください。祈り＝◀ 8605. tephillah (תְּפִלָּה) 77回▶(N)祈り

願い＝◀ 8467. techinnah (תְּחִינָה) 25回▶(N)好意、願い求め

叫び＝◀ 7440. rinnah (רִנָּה) 33回▶(N)叫び

祈り＝◀ 6419. palal (פָּלַל) 84回▶(V)干渉する、とりなしする、祈る

6:20 そして、この宮、すなわち、あなたの御名をそこに置くとされたこの場所に、昼も夜も御目を開き、あなたのしもべがこの場所に向かってささげる祈りを聞いてください。

◀ 6419. palal (פָּלַל) 84回▶(V)干渉する、とりなしする、祈る

6:21 あなたのしもべとあなたの民イスラエルが、この場所に向かってささげ

る 願いを聞いてください。あなたご自身が、あなたの御住まいの場所、天からこれを聞いてください。聞いて、お赦してください。

ささげる = ◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

願い = ◀ 8469. tachanun (תְּחִינּוּן) 18 回 ▶ (N) 願い、好意

6:24 あなたの民イスラエルが、あなたの前に罪ある者となって、敵に打ち負かされたとき、彼らが立ち返り、御名を **ほめたたえ**、この宮で御前に **祈り** **願** **う** なら、

ほめたたえ = ホウドウ ▶ 3034. yadah (יָדָה) 114 回 ▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回

(NAS) (KJV) confess (改 4) ほめたたえ ★★

祈り = ◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

願う = ◀ 2603. Chanah (חָנָה) 78 回 ▶ 好意を示す、恵み深くある

6:26 彼らがあなたの前に罪ある者となって、天が閉ざされ雨が降らなくなったとき、彼らがこの場所に向かって **祈り**、御名を **ほめたたえ**、あなたが苦しめたことによって彼らとその罪から立ち返るなら、

ほめたたえ = ホウドウ ▶ 3034. yadah (יָדָה) 114 回 ▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回

(NAS) (KJV) confess (改 4) ほめたたえ ★★

祈り = ◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

6:29 だれでもあなたの民イスラエルが、それぞれ自分の疫病や痛みを思い知らされて、この宮に向かって両手を伸べ広げて祈るなら、どのような祈り、どのような願いであっても、

両手を伸べ広げて○=(改 2) 両手を差し伸べて×

6:30 あなたご自身が、御座が据えられた場所である天から聞いて、赦し、一人ひとりに、そのすべての生き方にしたがって報いてください。あなたはその心をご存じです。あなただけが、すべての人の子的心をご存じだからです。

御座が据えられた場所×=(改 2) 御住まいの所○

6:32 同様に、あなたの民イスラエルの者でない異国人についても、その人があなたの大いなる御名と力強い御手と伸ばされた御腕のゆえに、遠方の地から来てこの宮に向かって祈るなら、

◀ 6419. palal (ללף) 84 回▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

6:34 あなたの民が敵との戦いのために出て行くとき、遣わされる道で、あなたがお選びになったこの都、私が御名のために建てた宮に向かって、あなたに祈るなら、

◀ 6419. palal (ללף) 84 回▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

6:38 捕らわれて行った捕囚の地で、心のすべて、たましいのすべてをもってあなたに立ち返り、あなたが彼らの先祖にお与えになった彼らの地、あなたがお選びになったこの都、私が御名のために建てたこの宮の方に向かって祈るなら、

◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

6:41 今、神、【主】よ、立ち上がってください。あなたの休み所にお入りください。あなたとあなたの御力の箱も。神、【主】よ、あなたの祭司たちが救いを身にまとい、あなたにある敬虔な人たちが、いつくしみを喜びますように。
6:42 神、【主】よ、あなたに油注がれた者たちの顔を退けないでください。あなたのしもべダビデの誠実な行いの数々を思い起こしてください。」

休み = ◀ 名詞 5118. nuach or noach 2 回 ▶ 休み(N)

ただし、◀ 動詞 5117. nuach 67 回 ▶ とは異なる。

この単語が使われているのは、エステル記 9:16 とここの 2 回だけ。
エステル記 9:16 王の諸州にいる残りのユダヤ人たちも団結して、自分たちのいのちを守り、敵からの安息を得た。すなわち、自分たちを憎む者七万五千人を殺した。しかし、略奪品には手を出さなかった。

7:1 ソロモンが祈り終わると、天から火が下って来て、全焼のささげ物と数々のいけにえを焼き尽くし、【主】の栄光がこの宮に満ちた。

◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

7:2 祭司たちは 【主】の宮に入ることができなかった。【主】の栄光が【主】の宮に満ちたからである。

7:3 イスラエルのすべての人々は、火が下り、【主】の栄光がこの宮の上に現れたのを見て、膝をかがめて顔を地面の敷石に付け、伏し拝んで、「主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで」と【主】をほめたたえた。
膝をかがめて = カラ◀ 3766.(יָרַד) kara 36 回▶ ひざまづく (現へ) ひざまづく

(NAS)(KJV)(INT)* bowed (改 4) 膝をかがめて

伏し拝んで=シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)* worship (改4) 伏し拝んで

ほめたたえ=ホドウト◀ 3034. yadah(נדר) 114回▶ 感謝する 67回、賛美する 19回、告白 16回

(NAS) (KJV): praise ☆ (INT) give (改4)ほめたたえた

7:6 祭司たちはその務めにしたがって立ち、レビ人も【主】の楽器を手にしていた。これはダビデ王が作ったもので、ダビデが彼らの奏楽によって賛美するとき、「主の恵みはとこしえまで」と【主】をほめたたえるためのものであった。祭司たちは彼らに対面してラッパを吹き鳴らした。全イスラエルは起立していた。

手にしていた×=(改2)手にして立っていた○

手にしていた=◀ 5975. amad 525回▶ 立つ、

(変わった訳) ストップする 12回(Ge 30:9)「産まなくなったのを見て」

住む、とどまる (数回) (出 8:22)「わたしの民がとどまっているゴシェン」

7:6 祭司たちはその務めにしたがって立ち、レビ人も【主】の楽器を手にしていた。これはダビデ王が作ったもので、ダビデが彼らの奏楽によって賛美するとき、「主の恵みはとこしえまで」と【主】をほめたたえるためのものであった。祭司たちは彼らに対面してラッパを吹き鳴らした。全イスラエルは起立していた。

賛美=ハラル◀ 1984. halal (הלל)165回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

ほめたたえ=ホドウト=ヤダ◀ 3034. yadah(נדר) 114回▶感謝する 67回、賛

美する 19 回、告白 16 回

(NAS): give thanks (KJV): praise

@ダビデが彼らの奏樂によって（ハラル）したとき、「主の恵みはとこしえまで。」と主を（ヤダー）ための楽器であった。

7:13 わたしが天を閉ざして雨が降らなくなったり、あるいはわたしがバッタに命じてこの地を食い尽くさせたりして、わたしがわたしの民に対して疫病を送ったときには、

7:14 わたしの名で呼ばれているわたしの民が、自らへりくだり、祈りをささげ、わたしの顔を慕い求めてその悪の道から立ち返るなら、わたしは親しく天から聞いて、彼らの罪を赦し、彼らの地を癒やす。

◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

地を癒やす=ラファ 7495 エレツ 776

地=◀ 776. erets (אֶרֶץ) 2503 回 ▶ (N) 土地

癒す=◀ 7495. rapha (רָפָא) 67 回 ▶ (V) 癒す

7:15 今、わたしはこの場所でささげられる祈りに目を開き、耳を傾ける。

7:16 今、わたしはこの宮を選んで聖別した。それはとこしえにわたしの名をそこに置くためである。わたしの目とわたしの心は、いつもそこにある。

7:19 しかし、もしあなたがたが背いて、あなたがたの前に置いたわたしの掟とわたしの命令を捨て去り、行ってほかの神々に仕え、それを拝むなら、

拝む=シャハー◀ 7812. shachah (חנח) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

2 Chronicles 7:19 (NAS) (KJV) (INT)* worship (改 4) 拝む

7:22 人々は、『彼らは、エジプトの地から彼らを導き出した彼らの父祖の神、【主】を捨ててほかの神々に頼り、それを**拝み**、それに仕えた。そのため主はこのすべてのわざわいを彼らに下されたのだ』と言う。」

拝み=シャハー◀ 7812. shachah (חנח) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

2 Chronicles 7:19 (NAS) (KJV) (INT)* worship (改 4) 拝む

8:14 彼は父ダビデの定めにしたがい、祭司たちの組分けを定めてその務めに就かせ、レビ人もその任務に就かせ、日ごとの定めとして、祭司たちの前で**賛美**と奉仕をさせた。門衛たちも、その組分けにしたがって、それぞれ門に立たせた。神の人ダビデの命令がこうだったからである。

賛美=ハラル◀ 1984. halal (הלל) 165 回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

9:8 あなたの神、【主】が**ほめたたえられますように**。主はあなたを喜び、その王座にあなたを就かせ、あなたの神、【主】のために王とされました。あなたの神はイスラエルを愛して、これをとこしえに確立されたので、あなたを彼らの上に王として与え、公正と正義を行わせるのです。」

ほめたたえられますように=バラク◀ 1288. (ברך) barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

(NAS)(KJV)(INT)Blessed (改 4)ほめたたえ

9:11 王はこの白檀の木材で、【主】の宮と王宮のための通路を造り、歌い手たちのための**堅琴と琴**を作った。かつてユダの地で、このようなものが見られ

たことはなかった。

琴＝ ◀ 5035. nebel 38 回 ▶ 皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、琴、
壺

(改2)で十弦の琴と訳したが間違い

9:13 一年間にソロモンのところに入って来た金の重さは、金の目方で六百六十六タラントであった。

@1 タラントは 33kg(諸説あり) * 666 = 21,978kg(約 22t) 金の比重
19.3g/cm³ = 1,138.8cm³ 約= 1m³

これまでの採掘量、金の量は 14 万トン。ソロモンの 1 年分はそれの 0.015%
にあたる。

30年で 660 トン。それは全世界の 0.47%にあたる。

12:1 レハブアムの王位が確立し、彼が強くなると、彼は【主】の律法を捨て、
彼とともにいた全イスラエルもそうした。

13:5 イスラエルの神、【主】が、塩の契約をもって、イスラエルの王国をと
こしえにダビデとその子孫に与えられたことを、あなたがたが知らないはずは
ない。

@塩の契約 =永遠不変の契約

13:10 しかし、私たちにとっては、【主】が私たちの神であり、この方を捨て
なかった。また、【主】に仕える祭司たちはアロンの子らであり、レビ人も務
めを果たしている。

13:12 見よ、神は私たちとともにいて、かしらとなっておられる。また、神の
祭司たちも吹き鳴らすラッパを手にして、あなたがたに対し進撃の合図を吹き

鳴らそうとしている。イスラエルの人々よ、あなたがたの父祖の神、【主】と戦ってはならない。とうてい勝ち目がないからである。」

13:14 ユダが向き直ると、なんと、戦いは前後から迫っていた。そこで、彼らは【主】に**叫び求め**、祭司たちはラッパを**吹き鳴らした**。

「声を上げる」というのは自然な行動ですが、

叫び求め = ◀ 6817. Tsaag(קצץ) 55 回 ▶ 叫ぶ、呼ぶ

吹き鳴らす = ◀ 2690. chatsar (חצץ) 6 回 ▶

13:15 そして、ユダの人々は**ときの声をあげた**。ユダの人々が**ときの声をあげると**、神はヤロブアムと全イスラエルを、アビヤとユダの前に打ち破られたので、

ときの声をあげる = ◀ 7321.(רוע) rua 45 回 ▶ = 叫びをあげる

15:2 彼はアサの前に進み出て、言った。「アサおよび、すべてユダとベニヤミンの人々よ、私の言うことを聞きなさい。あなたがたが【主】とともにいる間は、主はあなたがたとともにおられます。もし、あなたがたがこの方を求めるなら、あなたがたにご自分を示してください。もし、あなたがたがこの方を捨てるなら、この方はあなたがたを捨ててしまいます。

15:7 しかし、あなたがたは勇気を出しなさい。力を落としてはなりません。あなたがたの働きには報いがあるからです。」

15:9 彼は、ユダとベニヤミンのすべての人々、およびエフライム、マナセ、シメオンから来て彼らのもとに寄留している人々を集めた。その神、【主】が

アサとともにおられるのを見て、イスラエルから多くの人々が彼のもとに下って来ていたのである。

下って来ていた=◀ 5307. naphal ▶ 落とす、倒す、(顔を伏せるという言葉は「顔を naphal すると表現」)

@ (共) 投降した。 (KJV) for they fell to him

15:16 また、アサ王は、母マアカがアシェラのために憎むべき像を造ったので、彼女を皇太后の位から退けた。アサはその憎むべき像を切り倒して粉々に砕き、これをキデロンの谷で焼いた。

皇太后=◀ 1377. gebirah 6回▶ lady, queen 翻訳は (改2)王母、(KJV) はどの箇所も常に queen

通常王妃及び女王は◀ 4436. malkah ▶

16:2 アサは、【主】の宮と王宮の宝物倉から銀と金を取り出し、ダマスコに住んでいたアラムの王ベン・ハダドのもとに送り届けて言った。

宮=◀ 1004. Bayith(バイヤス) (בית) 2056回▶ 家 @現代ヘブライ語の発音 (בית)(バイツ)

「主の宮」から銀と金を取り出し= 主のものを盗んで間違った契約を結んだ。単に主に信頼しない以上に悪い

16:3 「私の父とあなたの父上の間にあったように、私とあなたの間にも同盟を結びましょう。ご覧ください。私はあなたに銀と金を送りました。どうか、イスラエルの王バアシャとの同盟を破棄して、彼が私のもとから離れ去るようにしてください。」

16:9 【主】はその御目をもって全地を隅々まで見渡し、その心をご自分と全く一つになっている人々に御力を現してくださるのです。あなたは、このことについて愚かなことをしました。これから、あなたには数々の戦いが起こるでしょう。」

16:10 アサはこの予見者に対して怒りを発し、彼を牢獄につないだ。彼に対して、このことで激しい怒りを抱いたのである。アサはこのとき、**民のうちのある者を踏みにじった。**

民のうちのある者を踏みにじった = 神との関係悪化が人間関係も悪くなる

17:1 ヨシャパテ (ユダ4)

17:9 彼らはユダで教えた。【主】の律法の書を携え、ユダのすべての町を巡回して、民の間で**教えた。**

17:10 【主】の恐れが、ユダの周りの地のすべての王国にあつたので、ヨシャファテに戦いを仕掛ける者はいなかった。

17:11 ペリシテ人の中には、ヨシャファテに貢ぎ物と税としての銀を持って来る者があり、アラビア人も雄羊七千七百匹、雄やぎ七千七百匹を彼に持って来た。

17:12 **こうして**、ヨシャファテはしだいに並外れて強大になり、ユダに城塞や倉庫の町々を築いた。

18:2 数年後、彼がサマリアのアハブのところの下って行くと、**アハブ**は彼および彼とともにいた民のために、おびたしい数の羊や牛を屠り、ラモテ・ギルアデに攻め上るよう誘った。

18:7 イスラエルの王はヨシャファテに答えた。「ほかにもう一人、【主】に伺うことのできる者がいます。しかし、私は彼を憎んでいます。彼は私について

良いことは預言せず、いつも悪いことばかりを預言するからです。それはイムラの子ミカヤです。」ヨシャファテは言った。「王よ、そういうふうには言わないでください。」

18:10 ケナアナの子ゼデキヤは、王のために鉄の角を作って言った。「【主】はこう言われます。『これらの角で、あなたはアラムを突いて、絶ち滅ぼさなければならぬ。』」

@ゼデキヤ」 = 400人の預言者の中の一人

18:13 ミカヤは答えた。「【主】は生きておられる。私の神が私に告げられることを、そのまま述べよう。」

18:21 彼は答えました。『私が出て行って、彼のすべての預言者の口で偽りを言う霊となります。』主は『きっとあなたは惑わすことができる。出て行って、そのとおりにせよ』と言われました。

18:23 ケナアナの子ゼデキヤが近寄って来て、ミカヤの頬を殴りつけて言った。「どの道を通して【主】の霊が私を離れ、おまえに語ったというのか。」

19:7 今、【主】への恐れがあなたがたにあるように。忠実に行いなさい。私たちの神、【主】には、不正をすることも、えこひいきをすることも、賄賂を取ることもないからだ。」

19:10 それぞれの町に住んでいるあなたがたの兄弟たちから、流血の事件について、あるいは律法、命令、掟、定めについて、あなたがたのところに訴訟が持ち込まれた場合にはいつでも、あなたがたは、彼らが【主】に対して責めを負わないように、またあなたがたとあなたがたの兄弟たちの上に御怒りが下ることのないように、彼らに警告しなさい。そのように行えば、あなたがたが責

めを負うことはない。

20:3 ヨシャファテは恐れた。そして心に決めて【主】を求め、ユダの全土に断食を呼びかけた。

@断食という土台があって始めて、賛美などの戦略が有効となった。

20:6 こう言った。「私たちの父祖の神、【主】よ。あなたは天におられる神ではありませんか。あなたはすべての異邦の王国を支配なさる方ではありませんか。あなたの御手には勢いと力があり、あなたに立ち向かえる者はだれもいません。

@「言った」 = ◀ 559. amar 5308 回 ▶ to say, utter 言うという普通の言葉の 叫んだ×

20:7 私たちの神よ。あなたは、この地の住民をあなたの民イスラエルの前から追い払い、とこしえにあなたの友アブラハムの裔にお与えになったのではありませんか。

20:12 私たちの神よ。彼らをさばいてくださらないのですか。攻めて来るこの大軍に当たる力は、私たちにはありません。私たちとしては、どうすればよいのか分かりません。ただ、あなたに目を注ぐのみです。」

20:14 ときに、【主】の霊が会衆の中で、アサフ族の出であるレビ人ヤハジエルの上に臨んだ。彼はマタンヤの子エイエルの子ベナヤの子ゼカリヤの子である。

@ヤハジエルは預言者（アサフ）の家系

（1 歴代誌 25:2） 、、、 預言するアサフの指揮下にあった。

20:15 彼は言った。「ユダのすべての人々、エルサレムの住民、およびヨシャファテ王よ、よく聞いてください。【主】はあなたがたにこう言われます。『この大軍のゆえに恐れてはならない。おののいてはならない。これはあなたがたの戦いではなく、神の戦いである。

20:18 ヨシャファテは地にひれ伏し、ユダのすべての人々とエルサレムの住民も【主】の前にひれ伏して、【主】を礼拝した。

ひれ伏した=カダド◀ 6915. qadad (קַדַּד)15回▶ おじぎする、ひざまづく
原語には「地に」ということばはない

(NAS) bowed (low and did homage) (KJV) bowed(down their heads)
(INT) bowed(and did to the ord)

(改 4)(地に)ひれ伏した

ひれ伏して=ナファル◀ 5307.(נָפַל) naphal 435回▶ 落ちる、よりかかる

礼拝し=シャハー◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)* worship (改 4)礼拝し

20:19 ケハテの子孫、コラの子孫であるレビ人たちは立ち上がり、大声をあげてイスラエルの神、【主】を賛美した。

@主を賛美した = キリストも奇跡の前に山に登り感謝した。

賛美=ハラル◀ 1984. halal (הָלַל)165回▶ (源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

20:20 こうして、彼らは翌朝早く、テコアの荒野へ出陣した。出陣のとき、ヨシャファテは立ち上がって言った。「ユダおよびエルサレムの住民よ、私の言うことを聞け。あなたがたの神、【主】を信じなさい。そうすれば、あなたが

たは堅く立つことができる。主の預言者たちを信じ、勝利を得よ。」

信じなさい、堅く立つ、信じ=3 つとも同じ単語 ◀ 539. aman 108 回

▶ Definition: to confirm, support

(KJV) 20:20 So they rose early in the morning and went out into the Wilderness of Tekoa; and as they went out, Jehoshaphat stood and said, "Hear me, O Judah and you inhabitants of Jerusalem: Believe in the Lord your God, and you shall be established; believe His prophets, and you shall prosper."

@主を信じ、預言者を信じ

20:21 彼は民と相談し、【主】に向かって歌う者たちと、聖なる装いをして賛美する者たちとを任命した。彼らが武装した者の前に出て行って、こう言うためであった。「【主】に感謝せよ。その恵みはとこしえまで。」

聖なる装いをして=(改2) 聖なる飾り物を着けて

= (へ) Hadarah と qodesh でハラルする =栄光と聖さ

で賛美する、飾りと聖さで賛美する

◀名詞 1927. hadarah 5回▶飾り付け、栄光

◀名詞 6944. qodesh 464回▶分離 聖別、聖

聖なる装いをして賛美する者たち=(協共) 聖なる輝きを放つ方を賛美する者たち

(共) 主の聖なる輝きをたたえる者たち

賛美=ハラル◀ 1984. halal (هال)165回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、

気が狂う」)

感謝せよ＝ハウドゥ ◀ 3034. yadah(יָדָה) 114 回▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回

(NAS): give thanks (KJV): praise

ハラルするものを任命しホードゥと言った

イザヤ 64:6 私たちはみな、汚れた者のようになり、その義はみな、不潔な衣のようです。私たちはみな、木の葉のように枯れ、その咎は風のように私たちを吹き上げます。

@聖なる飾り物の反対＝自分の義（ぼろきれ）

詩篇 110:3 あなたの民はあなたの戦いの日に喜んで仕える。聖なる威光をまとして夜明け前から。あなたの若さは朝露のようだ。

詩篇 30:11 あなたは私のために嘆きを踊りに変えてくださいました。私の粗布を解き喜びをまわせてくださいました。

@荒布が喜びの衣に変えられたように、断食（2歴代誌 20：3）が聖なる飾り物に変えられる。

20:22 彼らが喜びと賛美の声をあげ始めると、【主】は伏兵を設けて、ユダに攻めて来たアンモン人、モアブ人、セイル山の人々を襲わせたので、彼らは打ち負かされた。

喜びの声を上げる＝◀ 7440. rinnah (רִנָּה)33 回▶

賛美の声(N)＝◀ 8416. tehillah (תְּהִלָּה)57 回▶ 賛美、賛美の歌

伏兵＝◀ 693. arab 41 回▶ to lie in wait 待ち伏せる (アラブ人は(עֲרָב))

20:23 アンモン人とモアブ人は、セイル山の住民たちに立ち向かい、これを絶

滅させ、根絶やしにした。セイルの住民を滅ぼし尽くすと、彼らは互いに戦って滅ぼし合った。

20:25 ヨシャファテとその民が分捕り物を奪いに行くと、そこで数多くの武器、衣服、高価な器具を見つけたので、運びきれないほどはぎ取った。分捕り物があまりにも多かったので、奪うのに三日もかかった。

@ 「分捕り、、剥ぎ取った」 = 魂の収穫、奪われた者の回復

20:26 四日目に、彼らはベラカの谷に集まり、そこで【主】をほめたたえた。それゆえ、人々はその場所の名をベラカの谷と呼んで、今日に至っている。ほめたたえた=バラク ◀ 1288. (בַּרַךְ) barak 330 回 ▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

ベラカ=バラカ(名詞) ◀ 1293. (בְּרַכָּה) berakah 69 回 ▶ 祝福。(google)では「あいさつ

@ 祝福とほめたたえるは同じ言葉

20:27 ユダとエルサレムの人々はみな、ヨシャファテを先頭にして、喜びのうちにエルサレムに凱旋した。【主】がその敵のことで彼らに喜びを与えられたからである。

20:28 彼らは琴、豎琴、ラッパを携えてエルサレムに入り、【主】の宮に行った。

琴= ◀ 5035. nebel 38 回 ▶ 皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、琴、壺

(改 2)で十弦の琴と訳したが間違い

20:28 彼らは琴、豎琴、ラッパを携えてエルサレムに入り、【主】の宮に行った

た。

【主】の宮に行った＝感謝をしに、感謝の賛美をしにいった。

20:29 【主】がイスラエルの敵と戦われたと聞くと、地のすべての王国に神の恐れが下った。

20:30 ヨシャファテの治世は平穏であった。神は周囲の者から彼を守り、安息を与えられた。

21:1 ヨラム (ユダ5)

21:17 彼らはユダに攻め上って侵略し、王宮で見つかったすべての財産をはじめとして彼の子や妻たちまでも奪い去った。そのため、彼には末子の **エホアハズ** のほか、息子は一人も残らなかった。

@エホアハズ＝アハズヤ

8代目の王ヨアシュ (22:11) ヨアシュもただ一人守られた。

第2歴代誌 22:11 しかし、王の娘エホシェバは、殺される王の子たちの中からアハズヤの子ヨアシュをこっそり連れ出し、寝具をしまう小部屋にその子とその乳母を入れた。祭司エホヤダの妻でアハズヤの妹である、ヨラム王の娘エホシェバが、ヨアシュをアタルヤから隠したので、アタルヤは彼を殺せなかった。

22:6 アハズヤ (ユダ6)

22:11 しかし、王の娘エホシェバは、殺される王の子たちの中からアハズヤの

子ヨアシュをこっそり連れ出し、寝具をしまう小部屋にその子とその乳母を入れた。祭司エホヤダの妻でアハズヤの妹である、ヨラム王の娘エホシェバが、ヨアシュをアタルヤから隠したので、アタルヤは彼を殺せなかった。

。

@主が血統を守られた。

(21 : 17) 「ヨアシュ」、ダビデ唯一の血統

23:12 アタルヤは、王をほめたたえている民と近衛兵の声を聞いて、【主】の宮の民のところに行った。

声 = ◀ 6963. qol ▶ 声、音

ほめたたえ = ハラル ◀ 1984. halal (להל) 165 回 ▶ (源) 輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

23:13 彼女が見ると、なんと、王が入り口の柱のそばに立ち、王の傍らに隊長たちやラッパ奏者たちがいて、民衆がみな喜んでラッパを吹き鳴らしていた。歌い手たちは楽器を手にして **賛美** の指揮をしていた。アタルヤは自分の衣を引き裂き、「謀反だ、謀反だ」と叫んだ。

賛美 = ハラル ◀ 1984. halal (להל) 165 回 ▶ (源) 輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

24 : 1 ヨアシュ (ユダ 8)

24:17 エホヤダの死後、ユダの首長たちが来て、王を **伏し拝んだ**。それで、王は彼らの言うことを聞き入れた。

伏し拝んだ = シャハー ◀ 7812. shachah (שחך) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) bowed down (KJV) obeisance (INT) bowed (改 4) 伏し拝んだ

25 : 1

アマツヤ (ユダ9)

25:8 しかし、もしあなたが行くのなら、そうしなさい。雄々しく戦いなさい。神はあなたを敵の前につまずかせられます。神には、助ける力も、つまずかせる力もあるからです。」

25:9 アマツヤは神の人に言った。「では、イスラエルの部隊に与えた百タラントはどうしたらよいのか。」神の人は答えた。「【主】は、それよりも多くのものを、あなたにお与えになることができます。」

25:14 アマツヤがエドム人を討って帰って来た後のこと、彼はセイル人の神々を持って来て、それらを自分の神々として立てた。彼はその前で伏し拝み、犠牲を供えていた。

伏し拝み=シャハー◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT) *bow (改4)伏し拝み

25:20 しかし、アマツヤは聞き入れなかった。それは神から出たことであって、彼らを敵の手に渡すためであった。彼らがエドムの神々を求めたからである。

26 : 1

ウジヤ (ユダ10)

26:8 アンモン人はウジヤのもとに貢ぎ物を納めた。こうして、彼の名はエジプトの境にまで届いた。その勢力がこの上なく強くなったからである。

26:10 彼はまた、荒野にやぐらを建て、多くの水溜めを掘った。シェフェラにも平野にも多くの家畜を持っていたからである。山地や果樹園には農夫やぶどう作りがいた。彼は農業を好んだのである。

26:14 ウジヤは、その全軍のために、盾、槍、かぶと、よろい、弓、および投石器用の石を用意した。

26:15 さらに彼はエルサレムで、巧みに考案された兵器を作り、矢や大石を放つために、やぐらの上や城壁の角の上に据えた。こうして、彼の名声は遠くにまで広まった。彼が驚くべき助けを得て、強くなったからである。

26:16 しかし、彼が強くなると、その心は高ぶり、ついに身に滅びを招いた。彼は自分の神、**【主】**の信頼を裏切った。香の壇の上で香をたこうとして**【主】**の神殿に入ったのである。(改4)

【主】の信頼を裏切った=(改2)不信の罪を犯した

26:18 彼らはウジヤ王の前に立ちふさがって言った。「ウジヤよ、**【主】**に香をたくのはあなたのすることではありません。香をたくのは、聖別された祭司たち、アロンの子らのことです。聖所から出てください。あなたは主の信頼を裏切りました。あなたには、神である**【主】**の誉れは与えられません。」

27 : 1 ヨタム (ユダ 1 1)

28 : 1 アハズ (ユダ 1 2)

28:23 彼は、自分を打ったダマスコの神々にいけにえを献げて言った。「アラムの王たちの神々は彼らを助けている。この神々に、私もいけにえを献げよう。そうすれば私を助けてくれるだろう。」これらの神々は、彼と全イスラエルをつまずかせるものとなった。

@そうすれば私を助けてくれるだろう」=あべこべの考え方

つまずかせる=◀ 3782. kashal ▶ ダメにする、つまずかせる

= (共) 破滅をもたらす

29:1 ヒゼキヤは二十五歳で王となり、エルサレムで二十九年間、王であった。彼の母の名はアビヤといい、ゼカリヤの娘であった。

@ヒゼキヤ (ユダ 1 3)

アビヤ=第2列王記では「アビ」

第2列王記 18:2 彼は二十五歳で王となり、エルサレムで二十九年間、王であった。彼の母の名はアビといい、ゼカリヤの娘であった。

29:25 また、王はレビ人を【主】の宮に配置し、ダビデおよび王の先見者ガド、預言者ナタンの命令のとおり、シンバルと琴と竪琴を持たせた。この命令は【主】から出たものであり、その預言者たちを通して与えられたものだからである。

琴= ◀ 5035. nebel 38 回 ▶ 皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、琴、壺

(改2)で十弦の琴と訳したが間違い

29 : 27 全焼のいけにえを」

29:28 全会衆は伏し拝み、歌い手は歌い、ラッパ奏者はラッパを吹き鳴らした。このすべては、全焼のささげ物が終わるまで続いた。

伏し拝み=シャハー◀ 7812. shachah (שחח) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)* worship (改4)伏し拝み

@賛美

29:29 献げ終わると、王および彼とともにいたすべての者は、**膝をかがめて**
伏し拝んだ。

@礼拝

ひざをかがめ=カラ◀ 3766.(ヽㄥ) kara 36回▶ ひざまづく (現へ) ひざまづく

(NAS)(KJV)(INT)* bowed (改4)ひざをかがめ

伏し拝んだ=シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) bowed down (KJV) bowed themselves(INT)worshiped (改4)伏し拝み

29:30 ヒゼキヤ王と高官たちが、ダビデおよび先見者アサフの**ことば**をもって

【主】を**賛美**するようにレビ人に命じると、彼らは喜びつつ**賛美**した。そして、一同は**ひざまずいて****伏し拝んだ**。

賛美=ハラル◀ 1984. halal (הלל)165回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

ひざまずいて=カダド◀ 6915. qadad (קדד)15回▶ おじぎする、ひざまづく

(NAS) bowed down (KJV) bowed their heads (INT) bowed (改4)ひざまずいて

伏し拝んだ=シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS)worshiped (KJV) worshiped (INT) worshiped (改4)伏し拝んだ

29:31 そのとき、ヒゼキヤは言った。「今、あなたがたは【主】に身を献げました。近づいて、**感謝のささげ物**を【主】の宮に携えて来なさい。」会衆は**感謝のささげ物**を携えて来た。また、心から進んで献げる者はみな、全焼のさ

さげ物を携えて来た。

感謝のささげ物＝トウドット＝◀ 8426. todah (תודה) 32回 ▶ 意味は「感謝」「賛美」「告白」

30:1 ヒゼキヤはイスラエルとユダの全土に人を遣わして、またエフライムとマナセに手紙を書いて、エルサレムにある【主】の宮に来て、イスラエルの神、【主】に過越のいけにえを献げるように呼びかけた。

30:5 彼らはベエル・シェバからダンに至るまで、イスラエル全土に通達を出し、エルサレムに来てイスラエルの神、【主】に過越のいけにえを献げるよう、呼びかけることを決定した。規定どおりに献げている者が多くなかったからである。

30:6 急使たちは、王とその高官たちから託された手紙を携えて、イスラエルとユダの全土を行き巡り、王の命令のとおり^にに告げた。「イスラエルの子らよ、アブラハム、イサク、イスラエルの神、【主】に立ち返りなさい。そうすれば、主は、アッシリアの王たちの手を逃れて残ったあなたがたのところに、帰って来てくださいます。

30:9 もしあなたがたが【主】に立ち返るなら、あなたがたの兄弟や子たちは、彼らを捕虜にした人々のあわれみを受け、この地に帰って来るでしょう。あなたがたの神、【主】は恵み深く、あわれみ深い方であり、あなたがたが主に立ち返るなら、あなたがたから御顔を背けられることはありません。」

30:10 こうして急使たちは、エフライムとマナセからゼブルンの地に至るまで、町から町へと行き巡ったが、人々は彼らを笑いものにして嘲った。

30:13 こうして、第二の月に多くの民が、種なしパンの祭りをを行うためにエルサレムに集まった。それは、おびただしい数の大集団であった。

30:18 民のうち大勢の者、エフライムとマナセ、イッサカルとゼブルンの多くの者は、身をきよめずに、しかも、記されているのとは異なったやり方で過越のいけにえを食べてしまった。それでヒゼキヤは彼らのために祈った。「いくしみ深い【主】よ、彼らをお赦してください。

◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

@ヒゼキヤのとりなし

30:21 エルサレムにいたイスラエルの子らは、七日の間、大きな喜びをもって種なしパンの祭りを行った。レビ人と祭司たちは、毎日【主】に向かって力強い調べの楽器を奏でて、【主】をほめたたえた。

ほめたたえた＝ハラル◀ 1984. halal (הָלַל)165 回▶(源)輝く(訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

30:22 ヒゼキヤは、【主】への務めによく通じているすべてのレビ人に励ましのことばをかけた。彼らは、交わりのいけにえを献げ、父祖の神、【主】に告白をしつつ、七日間、祝いの食事にあずかった。

告白＝ワディム◀ 3034. yadah(יָדָה) 114 回▶感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回 ★★

(NAS): give thanks (KJV): confession

現代語 confession =(google)ホダア(הוֹדָא)

30:25 こうして、ユダの全会衆、祭司とレビ人、イスラエルから来た全会衆、イスラエルの地から来た寄留者でユダに在住している者たちは、みな喜んだ。

30:26 エルサレムには大きな喜びがあった。イスラエルの王、ダビデの子ソロ

モンの時代以来、エルサレムでこのようなことはなかったからである。

Ⅱ歴代 30:27 レビ人の祭司たちが立ち上がって民を**祝福した**。彼らの声は聞き届けられ、彼らの祈りは、主の聖なる御住まいである天に届いた。

祝福する=バラク・1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改4)

31:1 これらすべてのことが終わると、そこにいた**全イスラエル**はユダの町々に出て行き、石の柱を打ち砕き、アシェラ像を切り倒し、ユダ全土とベニヤミン、またエフライムとマナセの中にある高き所と祭壇を徹底的に壊した。そして、すべてのイスラエルの子らは、それぞれ自分の町、自分の所有地へ帰って行った。

全イスラエル=これらのことから 12 部族は全部が散らされたわけではなく多くの集団がいぜん残っていることがわかる。

(ヤコブ 1:1 神と主イエス・キリストのしもべヤコブが、国外に散っている十二の部族へあいさつを送ります。

(使徒 26:7 私たちの十二部族は、夜も昼も熱心に神に仕えながら、その約束のものを得たいと望んでおります。王よ。私は、この希望のためにユダヤ人から訴えられているのです。

(ゼカリヤ 8:13 ユダの家よ。イスラエルの家よ。あなたがたは諸国の民の間でのろいとなったが、そのように、わたしはあなたがたを救って、祝福とならせる。恐れるな。勇気を出せ。』

Ⅱ歴代 31:2 ヒゼキヤは祭司とレビ人の組を定め、祭司とレビ人それぞれの組ごとに、その奉仕にしたがって全焼のささげ物と交わりのいけにえを献げさせ、さらに、【主】の宿営の門で仕え、**告白し**、**賛美**させた。

告白＝ホドウト◀ 3034. yadah(יָדָה) 114 回▶感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回 ★★

(NAS) (KJV): give thanks

現代語 confession =(google)ホダア(הוֹדָא)

賛美＝ハラル◀ 1984. halal (הָלַל)165 回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

3 1 : 5 初物、十分の一を豊富に携えてきた」

31:6 ユダの町々に住むイスラエルとユダの人々も、牛や羊の十分の一と、彼らの神、【主】に聖別した聖なるささげ物の十分の一を携えて来て、いくつもの山に積み上げた。

31:8 ヒゼキヤと高官たちは、やって来て積まれた山を見ると、【主】とその民イスラエルをほめたたえた。

ほめたたえた＝バラク◀ 1288. (בָּרַךְ)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

(NAS)(KJV)(INT)Blessed

31:10 ツァドク家の祭司の長アザルヤが、彼に答えて言った。「人々が奉納物を【主】の宮に携えて来ることを始めてから、食べて満ち足り、たくさん残るようになりました。【主】が御民を祝福されたので、その残りがこんなにたくさんあるのです。」

祝福する＝バラク◀ 1288. (בָּרַךְ)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

32:7 「強くあれ。雄々しくあれ。アッシリアの王や、彼とともにいるすべての大軍を恐れてはならない。おののいてはならない。彼とともにいる者よりも

大いなる方が、私たちとともにいてくださるからである。

32:8 彼とともにいる者は肉の腕だが、私たちとともにおられる方は、私たちの神、【主】であり、私たちを助け、私たちの戦いを戦ってくださる。」民はユダの王ヒゼキヤのことばによって力づけられた。

32:12 ヒゼキヤとは、その高き所と祭壇を取り除いて、ユダとエルサレムに『あなたがたは、ただ一つの祭壇の前で**拝み**、その上で香をたかなくてはならない』と言った者ではないか。

拝み=シャハー◀ 7812. shachah (שחח) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

32:14 私の先祖たちが滅ぼしたこれらの国々の神々のうち、だれがその民を私の手から救い出すことができたか。おまえたちの神がおまえたちを私の手から救い出すことができるとでもいうのか。

32:19 彼らは、人の手のわざである、地上の民の神々について語るのと同じように、エルサレムの神について語ったのである。

32:21 【主】は御使いを遣わして、アッシリアの王の陣営にいたすべての勇士、指揮官、隊長を全滅させた。アッシリアの王は恥じて国へ帰り、自分の神の宮に入った。そのとき、自分の身から生まれ出た者たちが、そこで彼を剣にかけて倒した。

@ (2列19 : 35) =同じ話 「18万5千人を撃ち殺した」

32:20 ヒゼキヤ王と、アモツの子、預言者イザヤは、このことについて祈り、天に叫び求めた。

祈る = ◀ 6419. palal (פָּלַל) 84回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

32:21 【主】は御使いを遣わして、アッシリアの王の陣営にいたすべての勇士、指揮官、隊長を全滅させた。アッシリアの王は恥じて国へ帰り、自分の神の宮に入った。そのとき、自分の身から生まれ出た者たちが、そこで彼を剣にかけて倒した。

32:24 そのころ、ヒゼキヤは病気になって死にかかっていた。彼が【主】に祈ったとき、主は彼に答え、しるしを与えられた。

◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

@しるしを与えられた」 = 日時計が戻った (イザヤ 38 : 8)

第 2 列王記 20:6 わたしは、あなたの寿命にもう十五年を加える。わたしはアッシリアの王の手からあなたとこの都を救い出し、わたしのために、わたしのしもべダビデのためにこの都を守る。』

@ヒゼキアのがきによって悪い王が立った

第 2 列王記 21:1 マナセは十二歳で王となり、エルサレムで五十五年間、王であった。彼の母の名はヘフツィ・バハといった。

21:2 彼は、【主】がイスラエルの子らの前から追ひ払われた異邦の民の忌み嫌うべき慣わしをまねて、【主】の目に悪であることを行つた。

@彼が御心を受け入れて死んでいたら、15 年後に 12 歳のマナセは即位することは無く、王国の結果はまったく違っていたであろう。

@マナセへのさばき

(2 歴代 33:11)そこで【主】は、アッシリアの王の配下にある軍の

長たちを彼らのところに連れて来られた。彼らはマナセを鉤で捕らえ、青銅の足かせにつないで、バビロンへ引いて行った。

@マナセの悔い改め

第2歴代誌 33:13 神に祈ったので、神は彼の願いを聞き入れ、その切なる求めを聞いて、彼をエルサレムの彼の王国に戻された。こうしてマナセは、【主】こそ神であることを知った。

@そして良い王が立つ

@第2列王記 23:25 ヨシヤのようにモーセのすべての律法にしたがって、心のすべて、たましいのすべて、力のすべてをもって【主】に立ち返った王は、彼より前にはいなかった。彼の後にも彼のような者は、一人も起こらなかった。

@BUT しかし、もう遅かった

第2列王記 23:26 それにもかかわらず、マナセが引き起こした主のすべての怒りのゆえに、【主】はユダに向けて燃やした激しい怒りを収めようとはされなかった。

23:27 【主】は言われた。「わたしがイスラエルを除いたのと同じように、ユダもわたしの前から除く。わたしが選んだこの都エルサレムも、わたしの名を置くと言ったこの宮も、わたしは退ける。」

32:25 ところがヒゼキヤは、自分に与えられた恵みに応えようとせず、かえってその心を高ぶらせたので、彼の上に、また、ユダとエルサレムの上に御怒りが下った。

イザヤ 38:1 そのころ、ヒゼキヤは病気になって死にかかっていた。そこへ、アモツの子、預言者イザヤが来て、彼に言った。「【主】はこう言われる。『あなたの家を整理せよ。あなたは死ぬ。治らない。』」

32:31 ただし、バビロンの首長たちが、この地に示されたしるしについて調べるために彼のもとに使節を遣わしたとき、神は彼を試みて、その心にあることすべてを知ろうとして彼を捨て置かれた。(改四)

調べる = ◀ 1875. darash ▶ 尋ねる、求める、探す

(改2)の説明を「求める」という訳のほうがよいであろう

(改2)32:31 バビロンのつかさたちが彼のもとに代言者を遣わし、この地に示されたしるしについて説明を求めたとき、神は彼を試みて、その心にあることをことごとく知るために彼を捨て置かれた。《(改2)のほうが良い》

@主は心の中にあることを知るために、私たちから御顔を隠される。

@ 2列王記 20:13 ヒゼキヤは、彼らのことを聞いて、すべての宝庫、銀、金、香料、高価な油、武器庫、彼の宝物倉にあるすべての物を彼らに見せた。ヒゼキヤがその家の中、および国中で、彼らに見せなかった物は一つもなかった。

①この地で起こった奇跡（2歴代誌 32：31）を聞きつけてきた。

②にもかかわらず証をせずに自慢した。

③このときヒゼキヤは素晴らしい詩を作った（イザヤ 38：10ー）にもかかわらず。

イザヤ 38:10 私は言った。生涯の半ばで私はよみの門に入る。私は残りの年を失ってしまったのだ。……

38:17 ああ、私の味わった苦い苦しみは平安のためでした。あなたは私のたましいを慕い、滅びの穴から引き離されました。あなたは私のすべての罪を、あなたのうしろに投げやられました。

@素晴らしい主の恵みを体験しても、困難が終わればそれをすぐに忘れてしまう。

33 : 1 マナセ (ユダ 14)

33:3 そして、父ヒゼキヤが取り壊した高き所を築き直し、バアルのためにいくつもの祭壇を築き、アシェラ像を造った。また、彼は天の万象を**拝んで**これに仕えた。

拝んで伏し拝んだ=シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)* worship (改 4) 拝んで

33 : 5 天の万象の為に祭壇を築いた」

33:11 そこで【主】は、アッシリアの王の配下にある軍の長たちを彼らのところに連れて来られた。彼らはマナセを鉤で捕らえ、青銅の足かせにつないで、バビロンへ引いて行った。

33:12 しかし、彼は苦しみの中で彼の神、【主】に嘆願し、父祖の神の前に大いにへりくだり、

33:13 神に祈ったので、神は彼の願いを聞き入れ、その切なる求めを聞いて、彼をエルサレムの彼の王国に戻された。こうしてマナセは、【主】こそ神であることを知った。

祈った = ◀ 6419. palal (פָּלַל) 84回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

33:16 そして、【主】の祭壇を築き直し、その上で交わりのいけにえと感謝のいけにえを献げ、ユダに命じて、イスラエルの神、【主】に仕えさせた。

交わりのいけにえ = zebach (זֶבַח) + shelem (שְׁלֵם)

◀ 2077. zebach (זֶבַח) 162 回 ▶ いけにえ

◀ 8002. shelem (שְׁלֵם) 87 回 ▶ 交わりのいけにえ

感謝のいけにえ = トダ ▶ 8426. todah (תּוֹדָה) 32 回 ▶ 意味は「感謝」「賛美」「告白」

3 3 : 2 1 アモン (ユダ 1 5)

3 4 : 1 ヨシヤ (ユダ 1 6)

34:9 彼らは大祭司ヒルキヤのもとに行き、神の宮に納められていた金を渡した。これは入り口を守るレビ人が、マナセとエフライム、すべてのイスラエルの残りの者、および全ユダとベニヤミンから集めたものであった。それから彼らはエルサレムに戻り、

@ 10 部族は失われていない

34:18 さらに書記シャファンは王に告げた。「祭司ヒルキヤが私に一つの書物を渡してくれました。」シャファンは王の前でそれを朗読した。

34:19 王は律法のことばを聞いたとき、自分の衣を引き裂いた。

3 6 : 1 エホアハズ (ユダ 1 7)

36 : 5 エホヤキム (ユダ18)

36 : 9 エホヤキン (ユダ19)

36 : 11 ゼデキヤ (ユダ20)

36 : 16 - 19

36:12 彼はその神、【主】の目に悪であることを行い、【主】のことばを告げた預言者エレミヤの前にへりくだらなかつた。

36:16 ところが、彼らは神の使者たちを侮り、そのみことばを蔑み、その預言者たちを笑いものにしたので、ついに【主】の激しい憤りが民に対して燃え上がり、もはや癒やされることがないまでになった。

36:21 これは、エレミヤによって告げられた【主】のことばが成就して、この地が安息を取り戻すためであった。その荒廢の全期間が七十年を満了すまで、この地は安息を得た。

36:22 ペルシアの王キュロスの第一年に、エレミヤによって告げられた【主】のことばが成就するために、【主】はペルシアの王キュロスの霊を奮い立たせた。王は王国中に通達を出し、また文書にもした。

36:23 「ペルシアの王キュロスは言う。『天の神、【主】は、地のすべての王国を私にお与えくださった。この方が、ユダにあるエルサレムに、ご自分のために宮を建てるよう私を任命された。あなたがた、だれでも主の民に属する者には、その神、【主】がともにいてくださるよう。その者は上って行くようにせよ。』」

イザヤ 44:28 キュロスについては『彼はわたしの牧者。わたしの望むことをすべて成し遂げる』と言う。エルサレムについては『再建さ

れる。神殿はその基が据えられる』と言う。」